

- ## ○ミニコン・パソコンの使用時間

いて研究を推進した。その内容を次の五つのコースに分けて研究実践した。

A コンピュータ支援による学習

- ワンチップマイコンやポケコンなどの安価な教材を購入し、最大限に活用する。

校内の教職員研修を実施し、各種研究会や講習会に積極的に参加する。

四、研究經過（資料1参照）

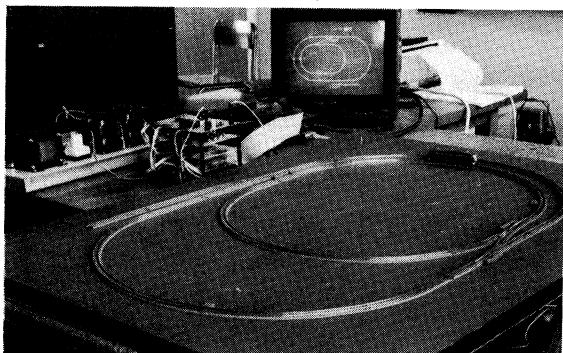
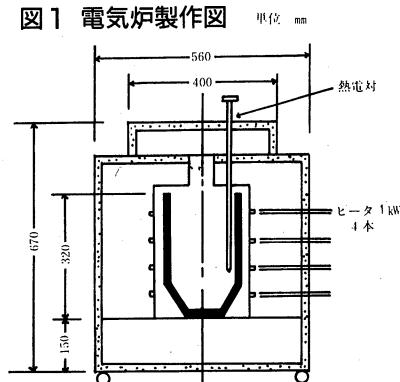


図2、マイコンによる列車制御（電気科）

B コンピュータの計測や制御等への

活用

- パソコンによる測色実験：繊維工業科
○ステッピングモータの回転制御・
NCフライス・亜鉛溶解における
電気炉（図1）の温度制御：機械工
科

C コンピュータの機構やプログラミ

これは従来行われてきたコンピュータの構造や周辺機器に関する学習とベーシックやフォートラン言語によるプログラミングの手法の学習である。今回は次の3冊のテキストを編さんした。

D 習子科

- エレベータ制御・モータのスピード制御・列車制御・スペクトラムアナライザ・電気科・電子料(例)マイコンによる列車制御
図2は、電気・電子科の制御実習用に開発された教材である。マイコンに8255インターフェイスを搭載し、列車の速度と前後進の制御および位置を検出するものである。

三

- 染色機械操作とコンピュータ制御
：織維工業科（図3参照）
 - パソコンとNCルーターを利用した

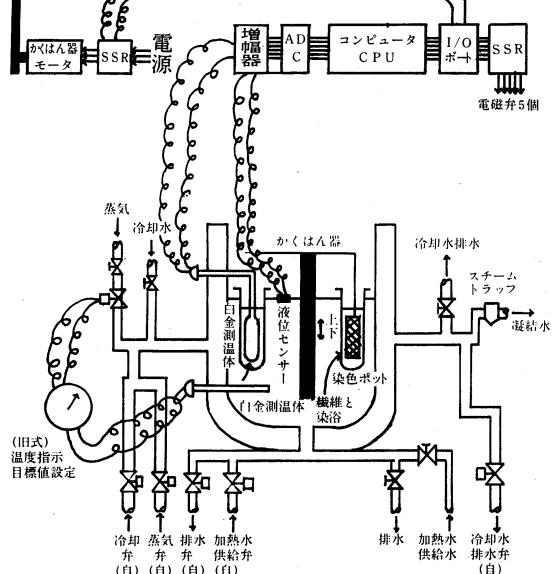


図3 高温高压染色試験器（改良後）